

令和 8 年 2 月 27 日  
公益社団法人日本看護家政紹介事業協会

## 家政婦（夫）による家事支援サービス

### 1 サービスの利用状況

#### (1) 利用者の属性

##### ① 年齢構成

80代以上：33%、70代：22%、60代：23%、50代：7%、40代：9%、30代：5%、無回答：1%

高齢者（60代以上）が全体の約 8 割

令和 3 年度厚生労働省委託事業「家政婦紹介所の活用を促進するために～家事サービス等アンケート調査の結果から～」P15

##### ② 世帯構成の傾向

- ・介護が必要な世帯 51.5%
- ・子育て世帯 14%（末子の年齢が中学生以上：4.9%、小学校高学年：1.2%、小学校低学年：3.0%、未就学児・幼児：4.9%）

主な顧客層は 60 代以上の介護が必要な高齢者世帯。加齢に伴う支援ニーズが高いと推察される。

令和 3 年度厚生労働省委託事業「家政婦紹介所の活用を促進するために～家事サービス等アンケート調査の結果から～」P16

#### (2) 家政婦（夫）の勤務時間

##### ① 1 日当たりの平均勤務時間（休憩時間を除く）

2 時間未満：14.4 %、2 時間以上 5 時間未満：43.0 %、5 時間以上 10 時間未満：23.0 %、10 時間以上：13.2 %、無回答：6.4%

労働条件分科会(第 189 回)「家事使用人に係る実態調査」令和 5 年 8 月 1 日 P4

##### ② 1 週間の平均勤務時間（休憩時間を除く）

10 時間未満：35.5 %、10 時間以上 20 時間未満：26.7 %、20 時間以上 30 時間未満：12.8 %、30 時間以上 40 時間未満：8.2%、40 時間以上 60 時間未満：6.4%、60 時間以上：2.9 %、無回答：7.5 %

1 日平均 5 時間未満、週平均 20 時間未満の勤務が全体の半数以上を占める。

労働条件分科会(第 189 回)「家事使用人に係る実態調査」令和 5 年 8 月 1 日 P5

#### (3) サービス提供内容

家政婦（夫）の業務内容は、掃除関係の業務：84.6%、食品・料理関係の業務：66.9%、衣類・洗濯関係の業務：65.2%、高齢者介護・認知症介護：46.4%、住生活関係の業務：41.1%、障がい者介護：8.9%、乳幼児支援・未就学児支援：1.3%、障がい児支援：1.2%、その他：4.8%、無回答：1.5%

労働条件分科会(第 189 回)「家事使用人に係る実態調査」令和 5 年 8 月 1 日 P6

#### (4) 利用を開始するきっかけ

家政婦（夫）を雇用する理由としては、気力や体力の低下、時間のなさが多かった。家事をする十分な体力・気力がないためが 48%、家事をする十分な時間がないが 31%と気力時間の補填のための利用が多かった。次いで、質の高い家事サービスを受けるためが 14%、家事に要する時間を家族のケアに使いたいと 12%、家事が苦手、家を空けることが多い 10%であった。

令和 3 年度厚生労働省委託事業「家政婦紹介所の活用を促進するために～家事サービス等アンケート調査の結果から～」P19

#### (5) 家政婦（夫）による家事サービスの満足度

満足とする回答は 93%と高く、その理由は、家政婦（夫）が固定されているので安心感がある：76.5%、介護保険のようにサービス内容や時間が制約されず自由に利用できる：58.5%、家事代行業者の様にサービスの種類が限定されておらず、必要に応じていろいろなサービスを利用できる：57%、家政婦（夫）の家事サービスの質が高く安心して任せられる：40%、家事代行業者に比べて料金が安い：34.5%、家政婦（夫）紹介所はサービスについての適切な情報提供をしてくれる：21%、その他：3%、無回答：2.1%

令和 3 年度厚生労働省委託事業「家政婦紹介所の活用を促進するために～家事サービス等アンケート調査の結果から～」P20

#### (6) 利用のハードルは何か、契約に至らなかったケースにはどのような理由があるか

家政婦紹介所の家事サービスを利用したいと思っているのに利用していない理由についてみると、「利用に必要な金額が高そうだ」が 66.0%と高く、次に「どこに頼んだらよいのか分からない」が 41.5%、「どのようなサービスが受けられるのか分からない」が 39.6%と、家政婦紹介所の情報不足や認識不足に関連する回答が上位に並んでいる。

平成 28 年度厚生労働省委託事業「家事支援サービス分野における求人・求職条件等調査報告書 P18

## 2 人材の育成・確保、サービスの品質・信頼性の向上、家政婦紹介所の需給調整機能の向上に向けた取組

### ○家政婦（夫）のサービス向上に向けたセミナーの実施

家政婦（夫）による家事支援サービスの向上を目的に、毎年度、協会が研修教材、研修実施要領を作成し、各都道府県支部又は各紹介所単位で実施。

【令和7年度 584回、1,410名を対象に実施】

### ○家政士検定試験の実施

家政士サービス関係職業の専門性と社会的認知度を高めるとともに、利用者がサービスを選択する際の明確な指標となり安心と信頼を提供することを目的に実施。平成28年度厚生労働省より社内検定の認定を受けて以来、10年にわたり、毎年度全国主要都市で開催。令和7年団体等検定の第1号の認定を取得。

【令和7年度 全国10都市で開催、受検者130名】

### ○地域の紹介所間の業務提携推進に向けた取組

増大するとともに、多様化、短日・短時間化する家事支援ニーズに迅速かつ的確に対応するため、地域の紹介所でネットワークを構築し、単独の紹介所では充足できない求人情報を相互に連絡・共有し、マッチングを図る業務提携を推進。

【令和7年度 厚生労働省より受託し、大阪府で業務提携ネットワークモデル事業を実施】